

2025年 市民自然環境調査

みづかな季節かんじ隊

調査結果報告書（ツバメ）



江 田 町

目 次

- | | |
|---------|------------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 参加者の声・写真 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |

令和7年10月
前橋市 環境部 環境政策課

1 調査の目的

環境基本計画に位置付ける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために、平成16年から、次世代を担う子ども達をはじめ広く市民の皆様に協力していただきながら、自然環境調査を実施しています。身近な生物を通じて自然に触れ、継続して調査をすることによって、前橋市域の自然環境やその変化を知っていただくとともに、環境保全への意識啓発を図ることを目的として、ツバメの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

(1) 調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます。）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

(2) 調査の概要

テーマ	指標生物	調査内容	調査期間
ツバメの調査	ツバメ、イワツバメ	初見日、抱卵確認日、 巣立ち	3月12日（水）～8月24日（日）

3 調査の結果

- ・調査隊員数： 11人
- ・調査地点数： 13地点
- ・確認種類（件数）：ツバメ（7件）、イワツバメ（4件）、不明及び無回答（2件）
- ・調査隊員の中で最も早い初見日の観測データ：3月23日

〈参考〉みちかな季節かんじ隊調査と前橋地方气象台で確認されたツバメの初認日

観測	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
みちかな季節 ※1	3月21日	3月26日	3月26日	3月23日	3月25日	3月14日	3月19日	3月11日	3月19日	3月19日	3月23日
前橋地方气象台 ※2	4月10日	4月13日	4月17日	4月10日	4月3日	3月26日	-	-	-	-	-

※1 前橋市市内における最も早い初見日を掲載

※2 気象庁生物季節観測は令和2年度末で廃止のため、令和3年度以降は未記載

〈参考〉令和7年日本野鳥の会群馬のツバメ初認情報 ※3

観測	市内	市外
ツバメ	3月27日（西片貝町5丁目）	3月22日（渋川市）
イワツバメ	3月23日（利根川 大渡橋周囲）	3月10日（高崎市）

※3 日本野鳥の会群馬ホームページより抜粋

4 調査データ

調査結果集計表												
番号			調査場所				ツバメの種類	観察日				
1	3	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
No.	隊員番号	調査地点	町名	名称 (地点名)	建物の種類	(その他)	ツバメの種類	初見日	1回目 抱卵確認日	1回目 巣立ち	2回目 抱卵確認日	2回目 巣立ち
1	1	あ	小栢木町	自宅	集合住宅	-	不明	3月29日	-	-	-	-
2	2	い	上青梨子町	自宅の駐車場の梁	戸建て住宅	-	ツバメ	3月27日	-	-	-	-
3	3	す	天川大島町	-	-	-	ツバメ	4月10日	-	-	-	-
4	4	う	龍蔵寺町	赤城白川が観音川と合流する少し上流の橋の下	川沿い	-	イワツバメ	3月24日	4月19日	-	5月28日	-
5	5	え	関根町	細ヶ沢川橋	その他	上武道路の細ヶ沢川にかかる橋	イワツバメ	4月5日	-	-	-	-
6	6	お	大渡町	しんしん大渡温水プール	学校・公共施設	-	ツバメ	5月23日	-	-	-	-
7	7	か	江田町	自宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月26日	4月30日	6月3日	6月15日	7月22日
8	8	き	大胡町	自宅	戸建て住宅	-	イワツバメ	3月23日	4月8日	6月7日	6月15日	7月29日
9	9	く	駒形町	駒形町4丁目	戸建て住宅	-	ツバメ	4月5日	-	-	-	-
10	10	け	粕川町	自宅	戸建て住宅	-	イワツバメ	3月25日	-	-	-	-
11	11	こ	山玉、下大島町	フォーリオ駒形ショッピングセンター	その他	集合店舗	ツバメ	6月3日	6月3日	-	-	-
12	11	さ	西大室町	知人宅	戸建て住宅	-	ツバメ	3月30日	4月17日	5月30日	6月1日	7月10日
13	11	し	駒形、下増田	橋の上 須永橋	川沿い	-	不明	3月26日	-	-	-	-



5 調査地点

調査結果集計表の調査地点を
地図上に表示しています



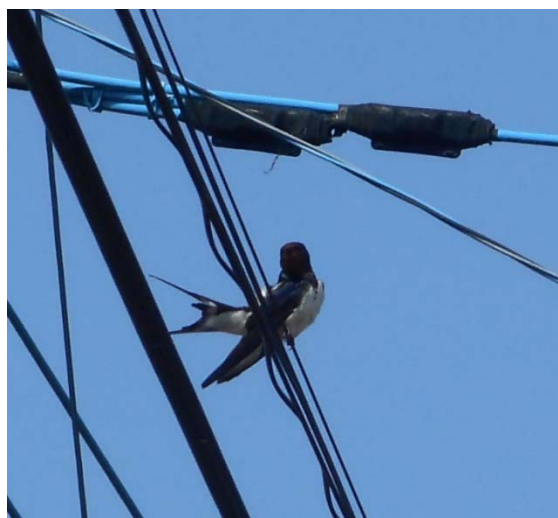
6 参加者の声と写真（一部抜粋）

今年も海を渡って来てくれて、パートナーが見つかり無事に子育ての様子を見守ることができました。異常な暑さも心配でしたが、負けずに元気にヒナ達は巣立ちました！
お父さん、お母さんお疲れ様でした。本当にホッとしています。また来年待っています。
（隊員番号7）



か 江田町

例年通りまた飛来してきました。このあと見守っていききたいと思いますが、営巣までが難しく・・・。
（隊員番号9）



く 駒形町

毎年ツバメがやって来た時と飛び立つ時には、必ずあいさつしてくれます。
元気に鳴く姿が愛らしいです。（隊員番号2）

いつもの橋の裏の巣は、今年新しく2個作られ6個になった。しかし喜ぶのもつかの間、抱卵していた巣は一番端の1個だけ。日が経つにつれ、他の巣が少しずつ壊されていた。近くにカラスを見かけたことがあり、もしかしていたずらされたのかも（？）と思った。

一回目の巣立ち以降、他の巣にツバメが入っているのを見ることはなかった。その後、橋の周辺を飛び交うツバメも見かけなくなってしまっ、残念で寂しかった。（隊員番号4）





さ 西大室町

知人の方に丁寧に説明していただきました。例年並みのツバメ達の巣作りから子育てに二回、十二羽の巣立ちまで無事見届けて、猛暑前見送りさせていただきました。とのことでした。今年は外敵（ヘビ数回、カラス毎日、スズメ数回）無事回避する。（隊員番号11）

今年は初見日が特にはやくやってきたとは感知できるかは論外です。さぞかし例年並みを期待したい。しかし、期間内でのツバメの飛来すら少ない結果である。国内猛暑厳しきおり子育てに支障が出たのでしょうか。（隊員番号11）



さ 西大室町



き 大胡町

今年も2回の巣作り、事故なく無事10羽の旅立ちを見せしてくれました。毎年を観察ではありますが、親子の絆はすばらしい一言です。つばめによって子育て期間は一定していません。ふる里に無事たどり着きますように祈っています。来年又逢えると思いますが、同じつばめか兄弟か分からないのが残念です。（隊員番号8）

マンションのまわりには巣は見当たりません。多分、近くの一戸建ての住宅に巣作りしているのではと思います。（隊員番号1）

橋の下泥を集めている



え 関根町



抱卵中？

古い巣をリフォームするペア

4月5日に初めて見に行った時には30羽程が飛び回っており、橋の下で土を集め、盛んに巣作り（古い巣のリフォーム）をしていました。4月30日には巣の中にいるイワツバメを確認しています。巣立ちは見ていませんが、多分無事巣立ったのではと思われます。橋ができて10年、毎年見られる光景になりました。ツバメについては今年は巣を壊されたり（カラス、スズメ？に）で、ほとんど繁殖できませんでした。（隊員番号5）

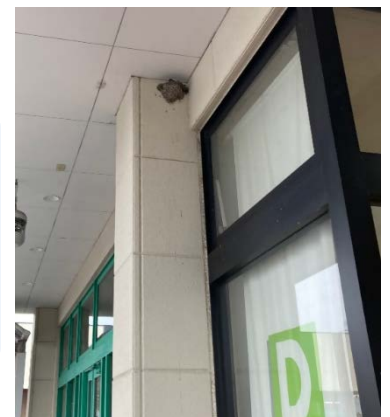


え 関根町



入り口の上にツバメの巣があって赤ちゃんが4羽いたのを見てお母さんが来たら口を開けていたのでよっぽどおなかがすいているんだなと思いました。（隊員番号6）

自宅界隈でなかなかツバメに出会わないシーズンが続いている中、近所のお店に行ってみるとびっくりする。お店の入り口の上部になんとツバメの巣発見。三カ所に親鳥が卵を抱卵して別のツバメが入れ替わる様子に見入ってしまった。最後まで巣立ち完了できず残念。（隊員番号11）



こ 下大島町

7 参考資料





ツバメの特徴

ツバメは、春の訪れとともに日本にやってくる夏鳥です。
 巣作りも子育ても雌雄が協力して行います。
 夏の終わりの南の国への渡去準備のため群れになります。

ツバメが好む住環境

ツバメのえさとなる虫がいる田んぼや川等
 水辺が近くにある場所

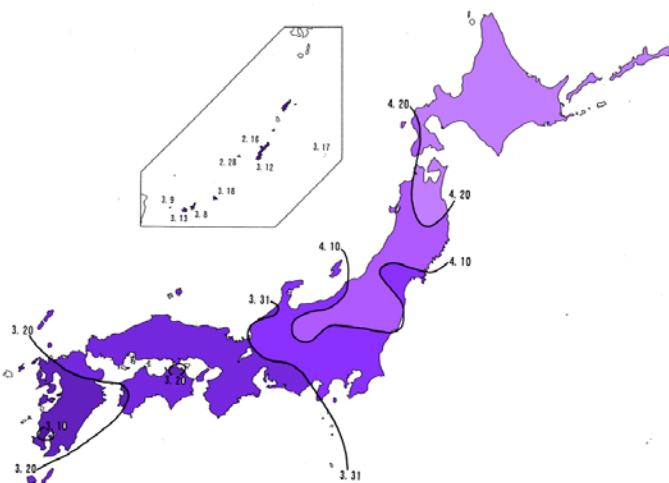
ツバメ・イワツバメの違い

	ツバメ	イワツバメ
見 分 け 方	 額とのはきは赤褐色 17 cm  尾は細長い	 14~15 cm  腰は白色 尾は短い
巣作り場所	商店や住宅の軒下に巣を作る	山や海岸の崖、ビルや橋などに集団で巣を作る
分 布	北海道から九州、種子島 (北海道では道南にほぼ限られる)	北海道から九州 (西日本では局地的で少ない)

イラスト：担当者

ツバメの初見日の等期日線図

(1981~2010年 平年値)



ツバメの初見は、3月上旬から九州
 地方南部で始まります。3月20日に九
 州地方、四国地方に達し、3月31日に
 中国地方、近畿地方、北陸地方、中部
 地方を結ぶ地域、4月10日に東海地
 方、関東甲信地方、東北地方南部を結
 ぶ地域、その後、東北地方北部を北上
 し4月下旬に北海道地方に達します。

〈気象庁HP「生物季節観測」引用〉

8 事務局より

今年は、11人の隊員の皆様から13地点のご報告をいただきました。隊員の皆様には初見日から巣立ちまで、長期にわたりご協力をいただき誠にありがとうございました。

近年、ツバメの数が減っているという声も多く、隊員の皆様からは巣が壊されていたという報告もありました。それでも懸命に子育てするツバメたちを、地域で暖かく見守られている様子が印象的でした。前橋市を飛び立ったツバメたちの無事を祈り、来年もまた元気な姿で戻って来てくれるように、ツバメと共存できる環境づくりを進めていきましょう。

今後も「みちかな季節かんじ隊」の調査に、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として4つ目の宣言文となります。